

つつじ咲き乱れる高原コースを快走



青山高原つつじクォーターマラソン



5月28日、第19回青山高原つつじクォーターマラソンが開催されました。このマラソンは、市内を問わず毎年多くのランナーが参加し、今年は東京都や埼玉県からの参加者もありました。

三角点を通り、ふるさとの丘付近で折り返す3kmコースは小学3年生以上が参加できるので、たくさんのお子どもたちが大人にまじりアップダウンの激しい高原のコースを走り抜きました。

5km、10.55kmでは、中学生から最高齢85歳までのランナーが参加しました。この日は風が強く、走るには厳しい天候でしたが、勢いよく回る風車を横目に参加者は爽やかな汗を流しました。

この大会にはリピーターも多く、自然のつつじと人工の風車が見事に調和した景観の美しいコースは、たくさんのおランナーに愛されています。

今年は1,108人が参加し、チームを組んで仲間同士で参加するランナーも多く、それぞれに高原のマラソンを楽しみました。

▶最後まで走りきった人には地元特産物の杉板で作った完走証をプレゼント



ホ～ホ～ホ～タル来い！



島ヶ原ホタルウォーク

6月2日、正月堂前おやまがわから小山川までの約1.5kmのコースを歩いてホタルを散策するホタルウォークが開催されました。このホタルウォークは毎年ホタルが成虫になる6月頃の毎週金曜日の夜に開催されていて、今年で6度目を迎えました。子どもたちに配られた資料には「日本に生息する約40種類のホタルの中で光るのはゲンジボタル・ヘイケボタル・ひめボタルなど数種類である」「ホタルが幼虫から成虫になる確率は3%」など、ホタルに関する知識がたくさん書かれていました。子どもたちはホタルを間近に見ながらホタルの生態について学びました。



ホタルに関する知識がたくさん書かれていました。子どもたちはホタルを間近に見ながらホタルの生態について学びました。

ほたる鑑賞会

～まなびあおやま子ども講座～

6月11日、伊賀市種生にある博要の丘で「博要地区ほたる祭り2006」が行われました。このイベントの一つ、ほたる鑑賞会にまなびあおやま子ども講座の小学生たちが参加しました。

博要の丘付近を流れる種生川（ホタル水路）は、毎年たくさんのおゲンジボタルやヘイケボタルを鑑賞することができる人気のスポットで、地元住民の憩いの場として愛されています。

鑑賞会に参加した小学生たちは「わー飛んでる！」「きれい」「たくさん見えた」と大歓声をあげながら夏の風物詩を楽しみました。

